



THE NEWS LETTER

日本歯科審美学会

Japan Academy of Esthetic Dentistry

2010 Winter 2010年12月

Vol. 22

巻 頭 言

学会の発展のために

日本歯科審美学会副会長 宮内修平



会員の皆様には、日頃から大変お世話になり感謝申し上げます。

今年度から2年間、佐藤 亨会長のもと、副会長を拝命いたしました宮内修平です。

微力ながら会員の皆様のため、また学会の発展のために少しでも貢献できればと思っております。

本学会もあつと言う間に会員総数が3,500名を越え、大所帯となりました。学会として会員数が増えるということは非常に好ましいことではありますが、弊害として執行部内部であるいは執行部と会員との間の意志の疎通が欠ける、意見統一が出来ないなど縦横の連携が希薄になってしまい、円滑な学会運営に支障をきたすことがあります。

そのため、佐藤会長は委員会組織を大きく再編成されました。全体を4部門に分割 1.学術関連部門、2.広報・編集部門、3.国内外交流部門、4.会員証カード部門、その中に各種部会を置き、さらにその下に各種委員会を設置しました。これにより縦横の連携をより密にするとともに風通しを良くし、部分的に負担が集中することを避けて無駄を省き、事業の効率化を図りました。これらの部門では、さまざまな工夫・努力がされております。例えば学術関連においては認定資格取得を強く推進し、学術大会を補足すべくセミナー関連の充実を図り、表彰制度運用も今年度からスタートさせています。

そもそも、歯科審美学会は多くの学会にみられるように単一専門分野のみで構成されたものではなく、いくつかの異なった専門分野の先生方、衛生士、技工士から構成された非常にユニークで最も臨床的色彩の濃い学会であります。

会員は特徴あるこの学会を通して幅広い歯科審美学の専門的知識および臨床技能を習得し、審美歯科医療の高度な水準の維持と向上を図り、国民の保健福祉に貢献かつ国民に信頼される審美歯科医療を提供しなければならないと思います。

このような魅力ある学会をさらに発展させていくために、今後とも会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第22回 日本歯科審美学会学術大会のご案内



末瀬一彦大会長

短かった秋の季節も終わり、身の引き締まる寒さを迎えていますが、会員の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて平成22年8月、岩手県安比高原での学術大会(石橋寛二大会長)が、素晴らしい企画のもとユニークな開催をされ、次期学会としてはひとし

おプレッシャーのかかるところです。

平成23年度日本歯科審美学会総会・学術大会を右記要項で開催させていただきます。平城遷都1300年祭も盛会のうちに幕を閉じ、平成22年、日本で最も注目された奈良でしたが、その余韻は未だ残り、京都とはまた一味違った趣を呈する古都であります。

前回の学術大会以降、山本一世実行委員長、中村隆志準備委員長、宮内修平・黒田康子大会両顧問らと共に打ち合わせ会議を数度開催し、11月18日(木)には大阪歯科大学において「第1回準備委員会」を行い、10数名の先生方からいろいろ企画案をいただきました。まだまだ、詳細にはほど遠い概要ですが、これから数回の準備委員会で有意義な学会内容を企画していきたいと思っています。

さわやかな秋のゴールデンウィークに、普段は足の遠い奈良にこの機会にぜひともお誘い合わせのうえお越しいただけますようお願い申し上げます



【テーマ】「いにしへの都で審美を語ろう～温故知新～」

【会期】平成23年10月8日(土)・9日(日)

【会場】奈良県新公会堂(奈良市春日町)

【大会長】末瀬一彦(大阪歯科大学歯科技工専門学校・歯科衛生士専門学校)

【実行委員長】山本一世(大阪歯科大学歯科保存学講座)

【準備委員長】中村隆志(大阪大学大学院歯学研究科歯科補綴学第一講座)

.....
【学会日程】

- 10月7日(金) 認定医試験(予定)・理事会、評議員会・役員懇親会
- 10月8日(土) 学術大会・総会・企業展示・懇親会(庭園にて
野外パーティー予定)
- 10月9日(日) 学術大会
- 10月10日(月・祝) 会員懇親ゴルフコンペ(予定)

【学会内容】

特別講演「日本人の美しい心(仮題)」

講師：薬師寺管主 山田法胤先生 他1題

シンポジウム4題、教育講演6題、セミナー委員会講習会1題、
ポスター発表、企業展示、会員懇親会

大会参加登録・演題募集・宿泊など詳細につきましては後日、
学会HP (www.jdshinbi.net/)にてご案内させていただきます。



第23回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学講座 歯科保存学教室

佐野英彦



当地札幌は初雪も降り、冬の到来をひしひしと感じております。写真は11月初旬に北海道大学病院歯科診療センター玄関前の歩道の並木を写したものです。ここでは、車道の両側に並ぶ黄金色の銀杏並木が本学の中でも特に美しい景観を見せてくれる場所です。この時期の日曜日は一日

に限り、車を通行止めにし、一般の方々にもこの美しさを十分堪能してもらっています。真夏の北海道マラソンのコースの一部を大学内に設定したりするなど、大学も市民との係わり合いに力を注いでいます。

さて、第23回日本歯科審美学会学術大会(第12回アジア歯科審美学会と併催)の準備のため、去る8月27日から3日間、岩手県の安比高原で開かれた第21回日本歯科審美学会学術大会に当教室から4名参加させて頂きました。

北海道では「安比」の知名度はそれほどなく、「安比」を知っている教職員は数名のみで、多くの教職員はアジア歯科審美学会のクアラルンプールに続いて私たちがどこか知らない外国に行くものだと思っていました。岩手県だと判ってから、リゾートということであらやましそうな視線を感じながら飛行機、



北海道大学病院歯科診療センター前

送迎バスと乗り継いで無事「未知の地」に到着いたしました。
当地は自然環境に恵まれた素晴らしいところでした。

学会は午前中に講演、討論等を行い、午後には周辺施設で親交を深めるという趣旨で行われました。私たちの多くは本学会参加自体が初めてでありますので、学会運営、最近の歯科審美における論点等、新鮮なことが多く大変参考になりました。見逃してはいけないと思うあまり必要以上に色々なところの写真を撮っていた者がいたとお気づきになった方もいらしたかと思いますが、おそらくそれは私たち一行です。ご迷惑をかけておりましたらこの場で深くお詫び申し上げます。

改めてご案内申し上げますが、平成24年に開催される札幌での第23回日本歯科審美学会学術大会は、第12回アジア歯科審美学会と併催となり7月20日から3日間、札幌コンベンションセンターで開催される予定となっています。会場は札幌中心部から20分ほどの所に位置し、学会にふさわしい静かな環境のなかで落ち着いて講演、発表、討論ができるものと思います(会場ホームページ・www.sora-scc.jp/)。また、会場周辺の環境も年々整備が整ってきていて昼食も近くでとることができます。繁華街もそれほど遠くなく学会後の個別の会合等にも移動しやすいと思われれます。

学会のプログラムなど内容に関してはまだまだ手探りの状態ではありますが、皆様に十分満足していただける学会にすべく準備を進めて参りたいと思いますのでご協力、ご助言等よろしくお願い申し上げます。

.....
第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会

【会 期】 2012年(平成24) 7月20日~22日

【会 場】 札幌コンベンションセンター(北海道・札幌市)



札幌コンベンションセンター

学術大会報告（1）

第21回日本歯科審美学会総会・学術大会開催のご報告

大会長：石橋寛二 実行委員長：武部 純 準備委員長：大平千之

平成22年8月27日から29日の3日間にわたり、岩手県安比高原安比プラザ・リゾートセンターにて第21回日本歯科審美学会総会・学術大会を開催いたしました。本学術大会に対し、会員の皆様、社団法人岩手県歯科医師会ならびに展示企業の皆様より絶大なるご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

また、特別講演、海外招待講演、会長講演、教育講演および4つのシンポジウムにてご講演頂きました講師の先生方には、改めて感謝申し上げます。

メインテーマを『歯科審美の源流：21年目の発見』とし、日々進歩を止めない歯科審美の流れの中にあって、あえてその原点に立ち戻ることを目指した本学術大会は、お陰様で300名を越える方々のご参加を得て、無事盛会裡に終了することができました。



大会長挨拶



ポスターセッション



シンポジウム

大会初日の夕刻から始まったポスター発表では、熱い討論が交わされ、企業展示およびワインが用意されたウェルカムレセプションと相まって会場は熱気につつまれました。大会2日目および3日目には講演、シンポジウム、一般口演発表等が行われ、午前7時からの開始にも関わらず多くの先生方が歯科審美のこれまでとこれからについて熱心に聴講されておりました。大会2日目の夜には、日本歯科審美学会とAmerican Academy of Cosmetic Dentistryとのセレモニーに続き、懇親会が開催されました。Korean Academy of Esthetic Dentistryからも多数の先生方にご出席頂き、国際的な雰囲気の中、夏の夜空を花火が彩り、盛会のうちに終了しました。

最後になりますが、日本歯科審美学会の今後のご発展と会員の先生方のご活躍を心より祈念し、第21回日本歯科審美学会総会・学術大会の御礼ならびにご報告とさせていただきます。



懇親会 (KAED・AACD)



懇親会

学術大会報告(2)

第21回日本審美歯科学会学術大会に参加して

愛知学院大学歯学部附属病院 歯科衛生部 歯科衛生士 山羽京子

2010年8月27日(金)~29日(日)岩手県安比高原で開催された第21回日本歯科審美学会学術大会に参加しました。安比高原は、盛岡駅から学会専用のシャトルバスで1時間程行った所にあり、夏は登山・ハイキング・モータースポーツ、冬はスキーといったリゾート地です。学術大会が開催されていた日は、モーターバイクの大会も開催されており、家族連れで賑わっていました。

今回の学術大会は、朝7時から学術講演、昼からは色々なアクティビティー企画があり、例年と違ったスタイルでした。

大会初日は、ポスター発表、ウェルカムレセプションがありました。辺り一面霧に覆われ、素晴らしい山の景色を見る事ができなかったのが残念でした。ウェルカムレセプションでは、オードブルやワインなどをいただきながら色々な先生方とお話ができ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。もっとたくさんの歯科衛生士が参加していたら、ざっくばらんに会話も広がったのではないかと思います。

2日目は、朝7時から佐藤 亨会長による会長講演「口腔の美機能と形態から」がありました。ゴールデンプロポーション、歯列の左右対称性、歯列の正中・上下顎の対向関係、「チェンジユア スマイル」の本の紹介など歯科衛生士にも十分理解出来る内容の講演でした。もっと聞きたかったのですが時間が限られていたので残念でした。認定医・認定士講習会の教育講演1、2やシンポジウム1~4もありました。昼からは、同じ職場から学会参加された先生方や同僚の歯科衛生士達とレンタカーで小岩井



安比高原目の前の山

農場に行ってきました。青空の下でのバーベキューは最高でした。アイスクリームやプリンもおいしかったです。また学会会場ではゴンドラで山に登ったり、ハイキング、バーベキュー、ゴルフなど盛りだくさんのアクティビティーがありました。このようなスタイルの学会は初めてだったので、朝早くから起きて参加出来るのか、昼からの時間を持って余すのではなど心配していましたが、そんな心配は無用でした。会員懇親会では、岩手名物の冷麺、たくさんのお料理、数多くの日本酒も用意されており、またウェルカムレセプションやその日のアクティビティーのスライドも紹介されたりして楽しくおいしく過ごさせていただきました。しかし、こちら歯科衛生士の参加が少なく、さらにポスター発表や口演も少なかったのが残念でした。偉そうな事は言えませんが、歯科衛生士がもっとどんどん参加して、色々な方とお話し、少しでも多くの情報に触れ、パワーアップ出来たらいいと思っております。今後ともよろしくご指導の程お願いいたします。



職場の先生方、歯科衛生士達と総合受付にて



学会会場総合受付にて

優秀発表賞受賞者のご紹介

平成21年度優秀奨励論文賞を受賞して

新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻
口腔健康科学講座う蝕学分野 浅井哲也



この度は、平成21年度優秀奨励論文賞を受賞し、大変光栄に思います。

今回の受賞研究は、歯科用CAD/CAMの適合性に関する研究です。歯科用CAD/CAMは、海外を中心に研究開発および臨床応用がされてきましたが、我が国においても普及が始まっています。なかでも、CERECシステム(SIRONA Dental

Systems)は、チェアサイドで即日にオールセラミック修復を行うことを目的に開発されたシステムです。従来のオールセラミック修復物の製作には長時間の複雑な技工工程があり、製作時間も数日を要したが、CERECシステムではコンピューター制御の加工機がブロック体で供給されたセラミックスを切削することで、短時間かつ簡便に修復物を製作することができます。CERECシステムでは、Spacer設定を調整することで修復物内面部の削除量を変更することができます。そのため、適切なSpacer設定値の検索は良好な適合性を有する修復物の製作に不可欠であると考えられます。本研究では3段階に設定されたフラットエンドのステップバーで修復物を製作する場合のSpacer設定値が修復物の適合精度に与える影響をセメントレプリカ法により検討しました。

本実験の条件下(Spacerを $-30\mu\text{m}$ 、 $0\mu\text{m}$ および $+30\mu\text{m}$ の3条件)では、すべてのインレーおよびクラウン修復物の計測部において、Spacer設定値を小さく設定するに従い、間隙量は小さくなる傾向が認められました。本実験で設定した最も小さいSpacer値である $-30\mu\text{m}$ においても、浮き上がりによる間隙量の増加を認めなかったことから、ステップバーによる切削精度の向上により、従来より小さいSpacer値が採用可能となり適合性の向上がはかれると思われました。

また、適合性の向上が、臨床では露出したセメント層の摩耗、辺縁漏洩および修復物のチッピングなどの軽減につながると思われる。今後も臨床に役立つ研究をおこなっていこうと思っております。

最後になりましたが、ご指導頂きました興地 隆史 教授、福島正義 教授および風間 龍之輔 先生に感謝申し上げます。

デンツプライ賞を受賞して

鶴見大学歯学部歯科保存学第一講座 大森かをる



この度は、第20回日本歯科審美学会学術大会の35演題のポスター発表の中からデンツプライ賞に選出いただき、大変光栄に思います。

今回は、「知覚過敏抑制材料がホームホワイトニング効果に及ぼす影響」の題目で発表させていただきました。

ホワイトニング時に知覚過敏症状を引き起こす症例は、40-60%との報告もあり、術中の患者さんの痛みに対する不安を取り除くことは、大きな課題と考えています。そのため、非常に基礎的な実験ではありますが、エナメル質の亀裂などが原因で起こるホームホワイトニング時の知覚過敏予防としてあらかじめ知覚過敏抑制材料を塗布した後、ホームホワイトニングを行った場合の漂白効果の影響を知るために、ホワイトニング専用として発売された歯科用知覚過敏抑制材料(スーパーシールスティックタイプ；フェニックスデンタル)を用いて評価を行いました。この製品は、患者さん自身が塗布することによってエナメル質の亀裂内にシュウ酸カルシウム結晶を形成するといわれています。実験の結果、ホワイトニング効果の阻害は認められなかったとともに、エナメル質断面をSEMにて観察したところ、亀裂部にシュウ酸カルシウム結晶が認められました。今後も、「白くて美しい歯」を安全にご提供するために、研究を継続して行きたいと思います。

最後に、このポスター発表を行うにあたりご指導ご協力いただきました当講座の先生方に心より感謝いたします。今回、2010年8月26日、清々しい安比高原で開催されました第21回学術大会で表彰されたことも一つの思い出となりました。



ホワイトニングコーディネーター講習会報告

第18回 ホワイトニングコーディネーター講習会報告

昭和大学歯学部歯科補綴学教室兼任講師・勝田台フルヤ歯科 古谷彰伸

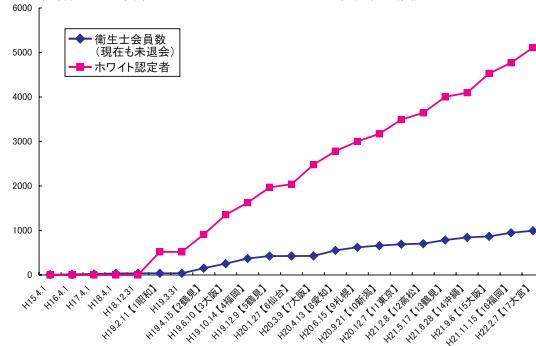
本年度1回目のホワイトニングコーディネーター(WC)講習会を9月26(日)にベルサール汐留で、過去最高の628名の歯科衛生士を集めて開催しました。ホワイトニングのニーズがいかにあるかがわかります。これだけの人数ですので入場するのも大変、広い会場の後ろから前方ステージまで移動するのも大変で、スクリーンは5つも使用することになりました。

真鍋厚史WC新委員長の発案で、今回から歯科衛生士の講師をもう1人増やしました。9:30から真鍋先生の開会挨拶の後、佐藤 亨会長による『歯科審美学総論』の講義、9:50~10:50『歯のホワイトニング基礎編』は大槻昌幸先生、11:00~12:00『実践編』は椿 智之先生、12:50~13:30『ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア』は歯科衛生士である永瀬佳奈先生と田嶋美樹先生、13:30~14:00『こんなときどう答える?—患者さんの質問に対して—』は大森かをる先生とそれぞれの講師が豊富な臨床経験をふまえ、大切なことを丁寧に講義しました。私が司会をした質疑応答でも時間内に終わらないほど多くの質問がありました。受講者たちは熱心に講義を聞き、真剣に試験問題に臨んでいました。

今回は今まで要望の高かったホワイトニングアドバンスセミナー(セミナー委員会主催)を初めて開催することもできました。受講者は219名(Dr33名・DH116名・DT2名)でした。詳細は委員会報告でのセミナー委員会のページを参照ください。

WCの人数は5,231名(第18回合格者のWC登録中)で、歯科衛生士の学会員数は1,170名(11/18現在)です。WC講習会開

歯科衛生士会員数とホワイトニングコーディネーター認定者の推移



始前の平成19年当時の歯科衛生士会員数は58名でしたので、WC講習受講により興味を持った歯科衛生士の多くが会員にもなってくれたこととなります。

今後の予定ですが、次回第19回は12月12日に大阪・梅田クリスタルホール(430名・すでに満員メ切)、第20回は来年の平成23年2月13日に東京医科歯科大学(500名・募集中)、第21回は6月12日に福岡・JR博多シティ(500名・アドバンスセミナー併催予定)、第22回は8月28日に大阪・梅田スカイビルステラホール(500名・10月に開催される奈良での学術大会の広報も行う予定)、第23回は11月13日に首都圏で開催予定です。満員メ切になってしまうこともありますので早めの申し込みを、皆さんの医院や病院、お知り合いの歯科衛生士へ是非お伝えください。

多くの学会の先生方のご協力があってWC制度が成り立っております。向上心あふれる数多くの歯科衛生士のために本学会が何を提供していけるのか、WC更新制度の検討、非会員のままのWCの問題など先生方皆さんのお力を借りてさらにより良い制度にしていければありがたいと思います。宜しくお願いいたします。



ベルサール汐留会場・628名!



試験中



講習会・アドバンスセミナー講師たち

委員会報告

広報・編集部会

前号のニュースレターでも述べましたように、今期は佐藤 亨会長のご意向で、編集委員会と広報関連の委員会が統合され、広報・編集部会が設置されました。その中に、「歯科審美編集委員会」と「ホームページ・ニュースレター委員会」が置かれ、機関紙である「歯科審美」とニュースレターにホームページをリンクさせ、歯科審美学会の広報活動がこれまで以上に活発に行えるようになりました。そのための具体的な活動として、平成22年10月には、佐藤 亨会長と齊木好太郎副会長にも出席して頂いて、学会としての方針を確認いたしました。

まず、現ホームページの問題点について検討し、内容を改善することになりました。さらに、「歯科審美」、「ホームページ・ニュースレター」を含めた、今後の広報活動のあり方について検討しました。機関紙「歯科審美」の発行は、これまでと同様に編集委員会が担当し、年2号(9月と3月)発行しています。平成23年3月20日発行の第23巻2号についてはすでに投稿が締め切られています。平成23年9月20日発行の第24巻1号の投稿締め切りは平成23年5月20日ですので、奮って投稿して頂きたいと思えます。学術大会で発表された研究につきましては積極的に「歯科審美」に投稿して頂きますようお願い申し上げます。

これからも広報活動を活発に行っていきたいと思えますので、「歯科審美」、「ホームページ」、「ニュースレター」等について忌憚のないご意見を皆さんから頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。(部会長 寺田善博)

国際渉外委員会

平成22年後半の国際渉外活動についてお知らせします。8月に安比で開催された日本歯科審美学会の岩手大会(石橋寛二大会長)に姉妹協定を結んでいるAACD(American Academy of Esthetic Dentistry・アメリカ)およびKAED(Korean Academy of Esthetic Dentistry・韓国)の両学会からゲストをお迎えしました。AACDを代表してDr.Okuda(元会長)に、そしてKAEDを代表してProf.Kwon(副会長)に特別講演を行っていただきました。また、懇親会の前にセレモニーを開催し、佐藤 亨会長に姉妹協定について紹介いただいた後に、AACDのFlax会長や韓国のDr.Lee名誉会長に挨拶をしていただきました。海外のゲストは、夏の安比高原でテニスやゴルフ、バーベキューなどを楽しんでおられました。

AACDやKAEDとは今回の岩手大会のような演者の招待以外に論文の交流も進めていくことになっています。まず第一弾として、9月発行の歯科審美23巻1号にAACD Flax会長の挨拶と

Dr. Sullivan (次期会長) によるIV級ダイレクトレジン修復の症例報告を掲載しましたので、是非ご一読ください。また、日本歯科審美学会より佐藤 亨会長挨拶と症例報告をAACDの学会誌に投稿中です。さらに、AACDの年次大会(2011年5月・ボストン)では、日本歯科審美学会代表として椿 智之先生にご講演いただく予定です。機会があれば、日本の会員の方々にもご参加いただきたいと思います。(委員長 中村隆志)



Dr. Okuda AACD元会長とDr. Kim KAED会長。このお二人は 韓国のゲストも参加された安比高原でのゴルフ。早朝からテニスをされていました。

.....

国内渉外委員会

さて、前号でご紹介したように「歯科審美学」と「審美歯科」の歯科界への普及事業として歯科衛生士と歯科技工士の養成機関や歯科衛生士会等の団体等への出張講義を検討しておりました。おかげさまで平成22年8月27～29日に岩手県安比高原で開催されました学術大会の総会において本事業が承認されました。

早速、出張講義にご協力いただける学会役員(理事・評議員)を募りましたところ32名の申し出をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。既に、全国歯科衛生士教育協議会および全国歯科技工士教育協議会を通じて、全国の養成校へ出張講義依頼のご案内を送付しているところです。出張講義にかかる実費はすべて学会が負担することになります。全国8ブロック単位で事業を展開する予定ですが、登録された役員の方々には派遣依頼がございましたら、どうか協力の程よろしく申し上げます。また、一般会員の皆様にはお近くの養成校へ積極的に出張講義事業をご紹介いただければ幸いです。(委員長 福島正義)

.....

社会保険委員会

学会の各種委員会の中でも、アクティビティには温度差があります。なぜならば、その活動の主たるものが学術あるいは臨床技術的な方向性を有しているからです。しかし、学会のあり

方としては、今後とも社会に対する発信を各方面から行うことが求められているのも現状です。その一つとして、社会保険委員会としては診療報酬改定に関して、厚生労働省へ歯科医療技術評価提案書を提出するためのすり合わせをすることを第一義とするものです。前号のニュースレターで触れたように、本年度前半における具体的な活動として、本年4月27・28日の二日間にわたって行われた「日本歯科医学会ワークショップ」への参加でした。歯科医療技術に関する学術的根拠の提供に資する討議を行うことによって、各分科会間の情報の共有と連携強化を図り、診療報酬改定に対するあり方を論議するものでした。その次のステップとして、本年11月26・27日の二日間にわたって、「新たな歯科医療技術の評価」あるいは「高齢社会における歯科医療」等をテーマとして、泊まりがけのワークショップが開催されることとなります。よりよい歯科診療の方向性を、本学会としても積極的に発信する機会と考えております。

(委員長 宮崎真至)

認定医審議会・認定士審議会

日頃より日本歯科審美学会「認定医審議会・認定士審議会」に対しまして格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。以下に平成22年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

- 1) 平成22年5月27日(木)平成22年度 第1回合同会議
 1. 第27期新規認定医、第11期新規認定士書類審査
 2. 更新認定医書類審査：4名全員合格
 3. 更新認定士書類審査：歯科技工士3名、歯科衛生士1名合格
- 2) 平成22年8月4日(水)・5日(木)平成22年度 第2回合同会議
 1. 第27期認定医審査(症例提示および口頭試問)の結果：7名全員合格
 2. 第11期認定士審査(症例提示および口頭試問)の結果：1名保留
 3. 第28期認定医試験
 - ・認定医申請受付期間：平成22年10月1日(金)～11月15日(月)必着
 - ・書類審査：平成22年12月9日(木)
 - ・症例提示および口頭試問：平成23年2月11日(金)・12日(土)
4. 今後のスケジュール(予定)について
 - ・第29期認定医、第12期認定士試験書類申請受付：平成23年4月中
 - ・症例提示および口頭試問：平成23年8月第1週
 - ・第30期認定医試験書類申請受付：平成23年6月中
 - ・症例提示および口頭試問：奈良の学術大会日10月7日(金)・予備日10日(月)
 - ・第31期認定医試験書類申請受付：平成23年10月中
 - ・症例提示および口頭試問：平成24年2月第1週もしくは第2週

特に役員の先生方は、上記の期間内に資格取得されますようお願い申し上げます。なお、申請に当たりましては本学会のホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いします。今後とも何卒よろしくようお願い申し上げます。(委員長 富士谷盛興)

セミナー委員会

本年度から、より有意義で効率的なセミナーを展開していくために、セミナー統括部会のもとにセミナーに関連する委員会、すなわちセミナー委員会、技工士セミナー委員会、デンタルカラーコーディネーター委員会、MTM研修会委員会、ホワイトニングコーディネーター委員会が整理再編され、セミナー委員長が各委員会と連携をはかり、各セミナーを統括することになりました。重責を担うことになりましたが、セミナー委員一同、皆様のご期待にお応えすべく頑張っております。

第1回は9月26日、ホワイトニングコーディネーター委員会にご協力いただき、ホワイトニングアドバンスセミナー『ホワイトニングの最前線を学ぶ』を開催いたしました。これはすでにホワイトニングコーディネーターの資格を取得している方や、より専門的で実践的なホワイトニング知識の習得を望む歯科医師、衛生士、技工士を対象として企画したセミナーで、230名を超える非常に多くの参加者を得ました。佐藤会長、武井副会長、コーディネーター委員の東光先生、田嶋先生、永井先生、椿先生にご講演いただき、内容の濃い充実したセミナーになりました。

第2回は11月28日にセミナー委員の北海道医療大学越智先生がコーディネーターを務め、『審美領域におけるインプラント治療の最前線を学ぶ』と題するセミナーを開催いたします。このニュースレターが発行される頃には終わっていますが、審美領域のインプラント治療はまさに最近の歯科審美のトピックのひとつであり、有意義なセミナーになることと思います。



第1回セミナーの会場



武井副会長基調講演の様子

来年3月13日には、日本歯科大学に会場をお借りして第3回のセミナーを開催いたします。今後も会員の皆様により専門性の高い歯科審美に関する知識と技術習得のお役に立つ企画を進めてまいりますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。
(委員長 日野年澄)

歯科技工士セミナー委員会

昨年度の歯科技工士部門の活動としては、『NEXT!次世代の歯科技工士を育成する』と題し第2回セミナーを開催いたしました。また、歯科技工士部門認定士の編・著による「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」を医歯薬出版株式会社から発刊いたしました。これらの実行には、歯科技工士部門活性化委員会のメンバーはもとより、セミナー委員会、認定審議会の委員の方々が深く関わっており、同時に役員の方の歯科技工士の学術活動へのご理解と御助力があればこそと、心より感謝しております。

今年度、次年度もこれらの事業を引き続き拡大をしていきたいと考えております。さらなる書籍の発刊も目指したいと考えておりますし、できればそれらを技工士セミナーとリンクさせて、会員の皆様に良い情報を提供していける環境づくりを目指したいと思っております。また次世代の歯科技工士に多くの事を受け継いでいただけるように努力をしております。

今後とも引き続き、日本歯科審美学会における歯科技工士の学術活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。
(委員長 中込敏夫)

デンタルカラーコーディネーター委員会

『審美・美』の探求は難しいと考えられます。歯科では美の要素を、口腔の機能美・形態美・色彩美にわけ歯科審美を探求しています。

目標とするのは、患者さんの満足度の高い調和とバランスのとれた美しさです。

色情報の伝達、チェアサイドとラボ間、それを再現する色彩の知識、審美的な満足度の高いシェードテイク、天然歯と見間違えるコンポジットレジン修復などの、エキスパート養成を目的としています。メンバーは、東光照夫、末瀬一彦、池島 巖、田中 誠、吉田周平の5名です。
(委員長 東光照夫)

MTM研修推進委員会

MTM研修推進委員会から、前号のニュースレターにてお知らせいたしましたMTM治療に関するQ&A集の編纂につきまして現状をご報告いたします。

昨今、本国の医療関係学会HPや医療機関HPにおいても、治療に関するガイドラインやQ&A集を多く目にする機会が増えてきております。そのような状況の中で、医療情報サービスMindsへの歯科関連のガイドライン掲載は未だ3件であり、いかにEBMによるガイドライン作成が困難であることが伺われます。

本学会におけるMTM治療の位置づけは、決してメインストリームにある訳ではありませんが、適用範囲は決して狭くはなく、現状では各分野の専門的知識や技術を統合して治療を行っていかねばならないことは、本年の「歯科審美・第22巻2号」に調査論文として掲載いたしましたところ です。従いまして、将来歯科医療従事者ならびに患者両者に有益なQ&A集にできるよう、MTM治療関連の報告を渉猟する作業を進めております。

本年は見えるような活動はありませんでしたが、できる限り早期に会員の皆様のご意見を伺えるよう尽力しております。何卒ご理解のほど宜しくお願いいたします。

(委員長 三浦廣行)

会員証カード委員会

「会員証カード」を発行すべく準備を進めておりましたが、本年8月の第21回学術大会前には会員皆様方のお手元にお届けできているかと存じます。

本カードは、日本歯科審美学会会員の証とともに本会の各催事に参加の際、受付に設置されたリーダーで読み取るだけで参加確認ができ、その参加履歴が学会ホームページ上のご自分のページで確認できるようになっています。

まず、学会ホームページの会員専用ページにアクセスして頂き「会員ログイン」ページで「会員番号」「パスワード」を入力してログインボタンをクリックすればご自分のページに入れます。

最初にマイメニュートップとなり「前回のログイン日時」が示されます。

パスワード変更ページは、カード発行時に各会員にお知らせしました「パスワード」が初期設定されていますが、自由に何度でも変更可能です。なお、会員番号は変更できません。

住所変更等ページは、ご自分の情報ページで現在の事務局に

届けられている内容です。「フリガナ」「ローマ字」等の間違いや各「住所」「勤務先」「電話番号」等に変更が生じた場合には、このページで変更をして頂き最下部の「変更」ボタンをクリックして頂ければ修正されます。また、事務局の会員データベースにも反映されるようになっていきます。「送り先」は、学会誌等の送付先です。ご自分のご都合のよい方を選択して下さい。

「メールアドレス」をお持ちの方は、可及的このページで記入をして頂ければと思います。

学術大会・セミナー参加履歴ページは、会員証カード発行後の本会各催事の参加履歴一覧が表示されます。ご確認頂ければと思います。また、今後は累計取得単位数も表示し各種認定制度の申請資格、更新資格に必要な単位数にあと何単位不足しているかのアラート機能も付加する予定です。なお、会員証カード発行前の参加履歴は構築されておりませんので従前のようにそれぞれの制度規則、制度施行細則に沿って申請をおこなった頂きたく思います。本会が認めている関連学会等の参加履歴についても同様にお願ひ致します。また、カード発行後についても、確認のためにもご自分で参加等の証を控えておいて下さい。

本カードの有効期間は3年間ですが、年に2回(5月・学術大会前ごろ)のタイミングで新たなカードをお届けする予定であります。今後は、ご自分の住所等の変更や各催事の参加歴の確認にご活用頂ければ幸いです。(委員長 齊木好太郎)

学術大会・セミナー参加情報

日付	曜日	学術大会・セミナー	時間・場所	参加単位数	備考
08-27	金	第21回日本歯科審美学会学術大会	安比プラザ・リゾートセンター	1	8/27~8/29開催
08-28	土	第21回日本歯科審美学会学術大会認定医・認定士講習会、WC講習会	10:30 安比プラザ・リゾートセンター	1	

.....

歯科技工士部門

歯科技工士部門の活動として、日本歯科審美学会認定士(歯科技工士)編集および著による「審美歯科技工の原理原則」(FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology)を医歯薬出版社「歯科技工」の別冊として発行をさせて頂きました。

本別冊は歯科技工士に必要な歯科審美に関わる概念と技術の基本が総括されており、「歯科審美学とは、顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療のための教育および学習に関する学問体系である。」と述べ

られている本会「教授要綱」を基本として、それを具現化すべく歯科技工分野での形態、色彩、機能の調和をいかに図るかを述べたものであります。

この分野のテーマを歯科技工士のみ著者により編纂されたのは珍しいとされ、特に若い歯科技工士の方々には好評を頂いております。

そこで、次年度にはその続編としてより各論に言及した内容の別冊の発行を考えております。その各論も、まずは機能をテーマとして歯科技工において審美と機能との関連、そのより良い機能を得るための具体的な方法・術式等の内容を予定しております。さらに、「歯科技工士セミナー委員会」とも連携を図りながら、歯科審美学、審美歯科治療の啓蒙と普及を歯科技工士の分野で図りたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

(副会長 齊木好太郎)

.....

歯科衛生士部門

歯科審美の分野において歯科衛生士に求められるもの

近年、超高齢社会を迎え、健康寿命の延伸、メタボリックシンドローム対策における特定保健指導や食べ方支援等の食育の推進、介護予防における口腔機能の向上、高齢者・要介護者・療養者への気道感染予防および食べる楽しみを向上するオーラルケア等、歯科衛生士を取り巻く『保健・医療・介護』の環境は大きく変化し、その求められる活動分野は拡大の一途をたどっております。

その中で、歯科審美の分野における歯科衛生士の活動も多様な広がりが求められております。

第一には「自然美への追求」であり、その基本は『清潔な歯と健康な歯肉の維持のためのオーラルケア支援』です。

第二には文明人としてのエチケットである「口臭の予防」であり、『舌を含む口腔全体のオーラルケアおよび口腔乾燥等への対応』が重要となります。

第三には「口腔機能の維持・向上」「発音・発声」等への対応であり、『美味しく食べ、楽しく話し、美しい笑いのある健口美』、つまり、人間としての尊厳ある『Beautiful ageingをサポートする』との視点が重要です。

今後ますます、メディカルケアプロフェSSIONナルの一員として専門的な対応が求められるなか、学会活動を通じて、トータルな歯科審美についての学習や情報の共有化により、社会のニーズに応えるべき時代を迎えたといえましょう。

(副会長 武井典子)

表彰選考委員会

新表彰制度のもと、8月に岩手県で開催された学術大会総会で、次の6名の先生方が表彰されました。

学会功労賞については、平成21年度枠として石橋寛二先生(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座)、加藤喜郎先生(日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第二講座)、平成22年度枠として佐藤 孝先生(ナグモ歯科赤坂クリニック)、田島菜穂子先生(ナグモ歯科赤坂クリニック)、優秀奨励論文賞については、浅井哲也先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野)「歯科用CAD/CANで製作されたオールセラミック修復物の適合性－新規ミリングバーで製作された修復物に与えるSpacer設定の影響－」、優秀発表賞(デンツプライ賞)については、大森かをる先生(鶴見大学歯学部第一歯科保存学教室)「知覚過敏抑制材料がホームホワイトニング効果に及ぼす影響」でした。おめでとうございます。表彰優秀研究論文賞、優秀臨床論文賞については、該当者はありませんでしたが、次年度には表彰できることを願っています。(委員長 長岡英一)



石橋寛二先生



加藤喜郎先生



佐藤 孝先生



田島菜穂子先生

会員数・認定医および認定士数(11月末日現在)

【会員数】

A会員/2,503名・B会員/1,320名・法人会員/30社

【認定医および認定士数】

認定医/91名(うち、終身認定医19名)

認定歯科技工士/29名・認定歯科衛生士/27名

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16
Tel: 03-5775-0515
<http://www.astratech.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15
ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



クラレメディカル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒108-0074 東京都港区高輪2-15-21
高輪小野ビル3F
Tel: 03-5475-2255
<http://www.sirona.co.jp>

3M ESPE

スリーエムヘルスケア株式会社
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>

Tokuyama Dental

株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

NISSIN

株式会社ニッシン
〒601-8469 京都市南区唐橋平垣町8
Tel: 075-681-5719
<http://nissin-dental.jp>

白水貿易株式会社

白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>

Dent Wave.com

プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>

PENTRON[®] JAPAN INC.

ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>

髯茂久田商会

株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>

株式会社 ヨシダ

株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

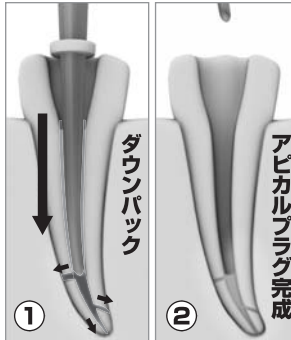
サウスコーストデンタル株式会社
パナソニックヘルスケア株式会社
メディア株式会社

3次元的な根管充填を可能に コードレスタイプの根管充填器

電熱式根管プラグ **スーパーエンドアルファ2**

STEP 1

適正なアピカル
プラグを
形成

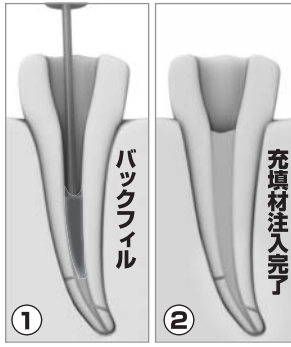


【特許】機械器具(65)歯科用充填器 電熱式根管プラグ(70718000) 医療機器承認番号: 221AGBX00289000号 特許庁(特許庁)

歯科根管材料
電気加熱注入器 **スーパーエンド ベータ**

STEP 2

根管充填材を
加熱流動化し
注入



【特許】機械器具(65)歯科用充填器及び重合金 歯科根管材料電気加熱注入器(70712009) 医療機器承認番号: 22209ZX00819000号

歯科用根管プラグ **BL コンデンサー**

根尖部用の追従性に優れた
ニッケルチタンと根管口部用
のステンレススチールによる
ダブル-エンドプラグ



サイズ: 35/70, 40/80, 50/100, 60/120

【特許】医療機器 機械器具(65)歯科用充填器 歯科用根管プラグ(41878000) 医療機器承認番号: 1382X00022000034号

製造販売元: **ペンタロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人/佐藤 亨

編集/日本歯科審美学会 広報・編集部会

印刷/三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/